



竜巻災害義援金の募金活動を実施しました 松伏町赤十字奉仕団に加入しませんか

赤十字奉仕団は、ボランティア精神に基づき、自ら進んで赤十字事業や奉仕活動を行う、住民の方々に身近な団体です。できることから結構です。ぜひ皆さまも松伏町赤十字奉仕団に加入して、赤十字ボランティアに参加してみませんか。

主な活動

- ①町や自治会が主催する防災訓練などへの参加
 - ②福祉施設などでの奉仕活動
 - ③赤十字社資(寄付金)募集、災害救援などのための募金活動
- 更に、災害時には国・県・町や赤十字社・ボランティアの方々と協力し、救護や支援を行います。

※昨年9月2日の松伏町における竜巻災害について、松伏町赤十字奉仕団は町内で義援金の募金活動を実施し、合計112,152円の義援金が集まりました。

| 募金実施日 | 募金活動をした場所等 | 義援金の額 |
|--------|---------------|---------|
| 9月15日 | いなげや松伏店 | 39,033円 |
| 9月29日 | カインズホーム松伏店 | 40,536円 |
| 10月20日 | まつぶし町民まつり2013 | 15,420円 |
| 11月 3日 | 松伏町民文化祭 | 17,163円 |



これらの義援金は、その都度全額町へお届けし、町内の被災者の方々に配分されました。募金及び活動場所を提供していただくなど、皆さまのご協力ありがとうございました。



犬の散歩中の「ふん」は放置せず 必ず持ち帰りましょう！



犬の散歩中の「ふん」について、一部の飼い主の方がそのまま放置することが見られます。道路や民地上に放置された「ふん」は、通行人や近隣住民の方に著しい「不快感」を与え、まちの環境を悪化させる迷惑行為となっています。

犬の「ふん」の持ち帰りは、どなたでも簡単にできることです。面倒がらず飼い主のマナーとして実行していただくようお願いします。

簡単にできる「ふん」のとり方とおしっこの処置

- ①犬の散歩のときは、紙(ティッシュペーパーなど)やビニール袋、水を入れたペットボトル等を用意し持参する。
 - ②犬が「ふん」をしたら、ビニール袋に手を入れて「ふん」をつかむ。(「ふん」がゆるい時は、紙でおおいビニール袋でつかむ。)
 - ③「ふん」をつかんだビニール袋を反転し、袋をとじる。
 - ④家へ持ち帰る(バックやレジ袋があると便利)。
 - ⑤おしっこをしたら、その場所に用意したペットボトルの水をかける。
- ※持ち帰った「ふん」は、ビニール袋に入れて可燃ごみ収集日に、他の可燃ごみと一緒にお願いします。